

## 「大学入学共通テスト」迫る！

年の瀬の訪れと共に、「大学入学共通テスト」までの残り日数も少なくなってきました。今年度は1月14日（土）・15日（日）の2日間の日程で実施されます。また、追試験については2週間後の1月28日（土）・29日（日）に、全都道府県に設定された会場（山梨県は山梨県立大学池田キャンパス）で実施する予定です。全国の志願者総数は512,581名と昨年度と比較して3.4%減少しています。一方で、全国の高校3年生のうち共通テストに出願した者の割合は全体の45.1%と昨年度同様に過去最高となりました。

本校3年生は全体の55.6%にあたる80名が出願しており、昨年度と同様に山梨大・山梨学院大・山梨県立大池田キャンパスの3会場に分散しての受験となります。過去2年間と同じく、会場周辺への受験生以外の立ち入りが厳しく制限されているため、今年度も試験当日の2日間はClassiを活用して出席確認を行う予定です。先日、受験票および受験上の注意を配付し、一通り受験する際の全般的な注意事項を確認しましたが、共通テスト前日に再度周知する機会を設けています。冬季休業中も引き続き感染対策に万全を期してください。

実施2年目となった昨年度は、日本史Bや化学、生物など比較的受験者が多い科目で、平均点が過去最低を記録しました。中でも数学I・Aは平均点が30点台という、旧センター試験では考えられない低い結果でしたが、受験生からは「設問の文章が思っていた以上に長く、読むのに時間を取られた結果、解答時間が足りなかった」という声が多く聞かれました。年末の対策課外、そして年明けの直前対策を有効に活用し、最新の出題傾向の把握はもちろん、適正な時間配分に気をつけながら解答に臨むようにしましょう。

共通テストを受験する3年生の皆さんにとっては、3年間の学業の集大成となるものです。各科目とも基本的内容に関する設問が必ず一定数ありますので、それらの問題で確実に加点すると共に、紛らわしい選択肢をしっかりと吟味して取りこぼしを最小限に抑えましょう。「現役生は試験直前まで伸びる」とされています。皆さんの粘り強い努力に期待しています。

## ※電子機器類の使用について※

昨年度の共通テストの試験中に、電子機器の使用による不正行為が発覚したことを受けて、今年度は試験会場での注意喚起がかなり厳しくなると予想されます。事前に配付されたリーフレットで注意事項を確認するとともに、入室後は速やかに電源を切ってかばんにしまうことを徹底しましょう。「このぐらい大丈夫」という安易な思い込みは危険です。

# 1・2年生の皆さんに今後意識してほしいこと

## ①各種体験事業やオープンキャンパス、ボランティア活動に積極的に参加しましょう

主に看護師体験などの医療関係の体験事業を中心に、学校単位で取りまとめが必要な催しについては、進路支援部が窓口となり各HRに連絡をしています。加えて中央廊下2・3階の掲示板にも個人で申し込みが可能な様々な催しを紹介していますが、1・2年生の皆さん、それらの連絡に対して常にアンテナを高く張っていますか？

夏休みに行われた保育所見学バスツアーに参加した3年生の多くは、異なる特徴を持った保育施設の見学により、目指す保育士像が明確になって学校選択に役立ったと話していました。さらに、9月に行われた新潟豪雨による被災地支援に参加した生徒からは、地域との連携や異世代交流の重要性を身をもって感じたという声が聞かれました。いずれも「百聞は一見に如かず」、参加したからこそ得られた収穫です。またコロナ禍以降、医療機関における看護師体験は実施されていませんが、代わりにオンラインでの体験が複数回設けられており、今年度は夏休みと冬休み合わせて、本校全体でのべ約50名が参加することになっています。

いざ進路先を選択する段階になって、志望分野の体験活動あるいはオープンキャンパスに参加していないということになると、熱意や意欲に疑問符がつきかねません。志望分野と関連の深い催しや志望校のオープンキャンパスについての連絡があった際は、部活動の予定や学校行事等を確認した上で参加可能な場合は、ぜひ積極的に参加しましょう。

## ②自らの歩みを自分の言葉で表現する力を身につけましょう

一昨年度以降、受験生が作成する出願書類の記載内容や分量が大きく様変わりしており、「学修計画書」や「自己推薦書」の提出を課すケースが大幅に増えています。前者は入学後の学びに対する見通しを持った計画を文章化せよ、というものであり、後者は単なる自己の売り込みにとどまらず、いかに志望分野に対する適性や意欲に富んでいるかをアピールするものです。将来への明確な展望があるか、そして在学中の多様な経験とそこからの変容と成長を自信を持って伝えられるかが問われています。その際、ただ「頑張った」や「成長した」という言葉のみを羅列しても、未知の相手（受験先の採点者等）には伝わりません。指定の形式や内容に沿った、読み手の要請に応えたものかどうか問われます。授業中を含めて日頃から感じたことや考えたことを整理して書く、そして推敲する習慣を定着させましょう。

### 〈3年生の保護者の皆様へお願い〉

本校生徒の進路検討・選択に際し、例年ベネッセや河合塾等の受験関連企業が取りまとめた各種データ（偏差値・合格可能性判定など）を活用しております。これは全国の高校生の入試結果情報等により作成されたものであり、今年度の本校生徒の入試結果についても、個人情報取り扱いに細心の注意を払った上で「個人が特定されない形式」での提供を予定しております。この件に関しまして、御同意いただけない場合は提供を控えますので、1月10日（火）始業式までに、HR担任または進路支援部までお知らせください。